

訓:

with the second and the state of t The state of the s The same of the sa the first the state of the stat The state of the s

院

唯老以一月

浙海宗門光剛室矣壽 學之行 應時機運門之教不後設也 食 字一卷一住都南拜瞻佛发于京 黎丧成越莫不歸敬壽等敗 常之能大凡成到之處風靡 承度難化, 放,沙平北越 之衆生竟西海大震 感靈像起於

龍林,我業盡,非常人之政為 飛心心降一部 風寂鳥 原使令一中流遇鬼原外妖怪度神 武野之间 一や俊叔世也 隆而識宗 義 奇蹟 不可企及者之其遊威於 智教量而義生 懋 集為,治,差其神 的 如 者能姓之神 徒 諸國 常人

十年 喚譽 德 子為夫神思之歸 2 風 行 上人 不孤义和新 實或搜索 南 **国**罗 寒暑報 與基精 不修勘排之 諸 舍唱 尊以 看手浴江 吧 仰天龍之 绿 時 或 眼 之虚

E

4

誠殿再心于

惜

为有本者

滑行

F

人之紫可謂 獲 敌 為多種 之顛非璨爛马說光為多 幡 酉 披 讀不勝感喜大権之化 內意上 久 日 動食於是一年 还 遊 鹿」ろう数変 祁目 被壓行 美 化档

師了連净寺尚綱堂



**踏題意上人話國行化傳卷之一以來** 

「なり、新ラ沿心祭フ事

部秋香草寺 開東事

龍好化益少事

一選書 ラ引導シ給了事

野校名号利生之事 僧老之一目哉

部野書事寺建立/夏郡野書事寺建立/夏郡野書事寺建立/夏

題ニシテ工像家ノ嗣高ナリ無政政後三婚家ノ好き 父初以上野ノ图館株ノ州三居住之大即子川鳴七黨 意上人誕生奇瑞人事 要言或赞賞八幡随意文八的道上称之奉心、生 諸國行化傳卷一 鄉都行寺村人俗姓八川岛成十り

三依大相别善行寺村三教住人、你心三夫婦一子無主夏

ラ然一天熊野權親三和心婦或夜ノ夢三能野三龍テ

リ怒手化シス野珠上成り丁懐三人ルト見る恐怖

一時順野力過心三金色ノ大能後まり迎に来

アルラハ普ク国中ノ州ラ退大正ラ進人意三値に、自 奇怪丁、宝珠八比し万寶ラ兩ラスノ徳下り、汝子力学 天皇此ノ示現ラ行之大天ノ告ラ教ケ霊夢ラ感之大 元金色ノ光リラハナ大無量ノ奇端光中三殿レタリ、 三至り給フニニノ大能アラハし東ノ長ケー文。除ニレ 在ラ砂ス男子ニン大権現ノ再ジナンシテョリ 委少夫二語心二夫人日少我聞人神武天皇細別南郊 大夢端メタル東人後午機船ノ身ト七小夢ノララ し給フト云へり、恐ヤ又質珠ト爱シテ懐三人王フラを 神藏實知ラ得大州中ノ孙神ラ状也文風民悉力安

惟幾水一半

酒肉五辛ラ食ゼス起居然ニスルコトナカレーラス月滿 之六人王百六代 後奈良院,御子、天文十一至寅年十月 其鳴う際産屋ラ質スルノョソラヒナリ、南北ノ際家其 十五月男子出生人此時群獨稱總力即之屋上三集上 五六歳ノ項ョ火沙門ラ見テ八数者シテ郎フ追し行う むノ又母堅ク是レラ免サス、汝午ラ佛神二所以情 セアリボノ九成三及シテ、交母ニ向に出家センコトラ 夕悦に学う合して、落溪セリ、見い人不思説ノ思ラナス ノ瑞力見近隣ノ男女比夏ラ聞キ、大三奇獎人童子誕 生ノ後百日ハカリラ過キ天常二佛菩薩ノ像ラ見テ、甚

着後とこ

テロノ此童子八寶三是レ世ノ福田丁り、改三直夜舟護 ナサン為ナル何人此习論大出家トセンで重テ此夏申人 ゼン為三来レリ我八是し帝叔天ノ使春青夜童子 寺光明寺第九世源等範答表順上人十五八七智道東 へ戸當家小童ノ後中二立以我し真が以う問人春 備ノ僧来リテ語リテロ人昨夜不思議ノ電夢ラ 了方と上云八次既三十一歲ノ時或目同國玉禮品二傳 感人忽然トレラ青をノ音子、手二八白き幡ラ雅 ケ得于養育人門上編二家名ラ相續之成都上モ トスフオナリト告ルト見え夢覚え、然し八比童子

遂三小童う節管上人三投び、上人附于落髮授戒し ヨリノ作業ヲ思に比僧ノ告レラ脚テルムコト無ク 頭い四海事師タラント父母警天被ノ童子が初新 ラ空ンク在俗人盛り三置ショリハ早人的門上成シ玉へ テ被計を童子人的幡常三随從スルコトラ思にテ 名う幡随意ト付ケ玉ノ り父八安所、母八伊野氏ナり、夢三白千王懷三入上 見一至公的學丁一年六月十一日三生以其時四 松云秋泰澄八三神氏三六战前ノ麻生津ノ人ナ 降上り上産屋ノ上三一寸餘十八五六歲三及へ下、小

ことが 学 一個

見ノ事三交ハラズ 戦派エラステ佛像ラ作り草 大ラリテ室子ラ構へ或ハ花ラトリ、水ラ粉に、合幸 ン供養スルラ館トセリ、持続六年道昭和尚北國三 遊化之三棟氏三宿人怒子小童ラ見ル二頭二圓 我ラ想以上三宝蓋ラ震へり道昭獨り是ラ見 ナリ住家八西方三在り、汝力坐人上蓮八觀也音 かつ大養育スヘント示サル、其、時泰衛十一歳ナリ、 ル、父母二告テ此児八神異ノ童子ナレ八泰敬人心ラ 門アリ語りテ目、汝子知ルヤ香や我上八次为本師 十四歳ノ時ノ夢ニ八身蓮聖三里シケルニ像ラ三次

炎ラ子,傳法自己三紀へ語脈/錯乱ラ私之法學 其後师ノ許ラ辞シテ鎌倉天照山光明寺法為智 アリス法践場三聲ラ震フトキン衆中敢テ富い者 憋上人ノ室三人り内外ノ修学三通達之好倫ノ響と 領戒サニ本山正統布薩ノ大戒ラ受持し先师ノ ナレズ奉管聖傅上人三随順と宗要ノ玄微ラ窓人四 所持セル花ラアリ、汝比血ノ形ラルテ丁一面利生 普照徳ラ施スへとと告ケフナセリ後戚、テ能り根類セリ 録者光明寺三至り給了夏

ラ挑ケ玉へり

秘云奉書上人八節書上人ノ法名三之大始二傳 信於人太陽秀言公然三門帰依後力之人諸國 ノ奇物財産ラ書格以所須念二應して殿堂房舎 三根テ寺勢トナリ谷人道徳時三長シ大世季テ 正八彩年地可京極三物サル第三十二世奉巻上人刻 堂衛公再與アリト云へに累年兵乱打續十大 三主タり知思寺八應仁以来、百有餘年ラ歩り六請 八龍堂全備也人第三十一世发興善心上人在住天 寺二住心中ゴロ光明寺二轉住之終二本山知思寺 時三再建し、中與し給に大慶長十五年正月

或日河越人感常上人人座下三至少年序數回力 雪鳳法門ノ龍泉ナリ南テ諸 歌遊歷之六講惟 八時二学及清岸全壽嘴遊為,有應皆編林人 人皇百七代正親町院天正三七萬年春三月言言等 フ張り説談ラナス道徳所々三温レエへり然ルニ 十八日塔頭慶運院三移テ城ラテサル冷尚寺中三傳元前 與書三奉舎上人第子相級廢次之產智善情 都次三三十三世智管上人十八本山知思寺三三老 遊意本主也幡遊意 自道那上在テ白筆了 圓覚經典教金法ニシテ弘法大师/筆ト云アリ

ガタハナ人ニシテれ人ハ死ス其ノ足彩一族ニウツ 文以が療ノ病ハ腰中ニ虫アリラ、鍼藥多治モ及 婚嫁ノ縁モナケレハだトナレテ後草ノ過三を室 其夢を些タ際クアてアナへ足モ人能ナフズ茂 病ニカリ其身熟し大寒吸盗汗し漸やニヤゼ夷 ラ構へ、住き玉にケリケルニカリソメニを損労療 天正年中武州後草ノ邊リ二成将アリ、一人人息女 学通ラ耿に一向專修ノ外他夏ナガリキ 三十四成頻り三無常り切け心見ラ知り名利 傳ア病ラ治シ給フラ ---

ス排に乙足更ニナン尼公逐三具着三死人其 ラ引がコトクロキ氣アリス雄ノ神ノ中三人丁見工 尼公ノ身ヨリ、白キ曜ノ如クナルモノ飛に出大於 公類り三般重久死シナントス尼公ノ妹アり、客顔 ノ尼公ヨリ傳八心病上丁父母七大十二萬十十七十五八 日ヨリなるで地重ク煩スがノ尼公三少七違い人が 八家中ノ面々上下氏二是ラ数千療養品ラ尽心醫 ントを室三来動り看病人上物部りと給フトニ 甚難八父母電愛限りナン彼ノ神君人病苦ラ前 渡り六巻ク城入改三傳ア病ト云ト云小此元

藥灸銀七露分川 六内三人人夢想ノ告ケラ部り病他ノ祈願ヲ頼ム サフマカラストテ後華ノ観音へ一七日前テン新殿ス 覚メテ後大比告夢ラ悦家中ノ人々二中含人時ラ ル三第六日ア夜ノ夢三老僧来リテ父三告テ日次が張 海エニシテ、散機似海ラ朝ム曹テ台家客泉 ノ病八明朝始テ来に沙門ラ親ミがラ八本後スへし 時三僧巻デえ、我し八幡随意ト云モノナリ、宗門八 行义翌朝行脚ノ僧アリテ頭路セラル、ス頓テ語 ト久称標ナント成スコトナン、思してヨラサルラナル 験モナンテハ佛神ノカオノデン

難横病被死了除土魔府衆尼難ノ利益、好其ノ鬼で スト即り今家ミラをレテースラ教こ給へ八一家 ト宣フス動テ頼ミテ日、僧八是し大慈悲ラツラ 三尺出也上一天真都三於陀人宝號司書夫病林二掛大 中老少悦了所其功德廣大十八其上觀音ノ夢想宣 少之我レ明朝来テ迎向スマント病人三十念ラ·授 人ヲ助た我身ラウスレラ人ヲ利益シェフラ本ト ケ、帰り至人父母ラ先上之家中ノ面や一心三初名 虚ナランで、是非額ミ奉ルト願へ、師ノ日かラハ白布ラ 三香花燈明月歇之茶陀人名号月粉念也日、横

指奏して

ト見へシガ、要サメテ後午心地家シク頭へカロクナリン ノ童子来リタマイテ我勉身ラ首ヨリチ足下天無 シニ五更三至り病人起テ告テ日暫ク睡心夢三四人 五八月月中日八白千奈ノ如千三八出了空三登山 人塊鏡三及シテ、師約了トク来リ五丁三父母上入 上元食進ムコト平常ノコトク三候是上偏三師ノ智 三對面シテ合学シ落族シテは昨夜教台上久念佛は 恵ミナリ、病人モ身ラ清メラ、御對面はリタキトラ 唯今髪ラックロハゼ居候ナリ過テ出中へしトラ 所へ情好察内心病人出于恭敬禮拜心快氣也

云、是レ我力力三八アラス、觀音八本師ノ化益ラ助ケ コトラ飲喜之上人八代力命 大選ラセモス此白布ノ名号、今三其ノ子孫三傳持七日 レ為三夢中三告ケ我レハ於でノ他ガラ親とテ次三教 工報見ラ存せい思える号ラがフ、シーテナ会ラ授 聞き、信敬尊重之新三字ラ経管之何ラ前子 布以其名四方三隱レナン改三上外館松ノ刺史 上人念佛弘通ノ為三諸國巡行之五人其他世間三流 原氏藤原康政师ノ德三婦之財放ノ要路ラ 部林善尊寺嗣基ノ夏 見れてりと尊えい、何

音をここ

帽繼名

此人一宗ノ雅林ラナハト発メエハリ、カクラ帝二國 中ノ男女群参込尊容ラ弁と下念ラ受ケ燈獨ラ 天正十五年年、师ノ蔵四十八女人剛提 快養し、事合ノ行ラ、修スルモノタカリケリ ラ起く玉八善道寺其ノーナリ、ナ八種林トハ 三田園百户ラ等所以衆徒數百ラ領シテ、盛 輪ラ轉入其後東君觀智國師ト相議メナバ 如来本願ノ数三モトッキ、部テハ松ノナハムナルミ 山等一祖上心終南山見生院善事手上去 竟女化益ノ夏 極 思了

人ニアラス上人三部テロ、我レハル城外ラ去テ、躑躅然トンテルな来しり、真容れ端殿ニシテだ上帝 力心三住人竟女丁小鸣呼洛問敷七、高高ノ身ラ ナルモー称す会スレハア子等 説シ玉丁二貴殿秋 力速子多清市ラ成人一夕後 シ玉へ上、師ノ日、汝寶二意神ナラハ、何ソ本形ラ 受大数百成ラ經ル二畫夜三熟ノ思に有六其 現セサルヤ、化女ノる、我本的ラ現して八上人甚歌 苦き思難心上人家レ願り八被苦與樂ノ法ラ示 シエンと、師ノ日我来夕物ノ恐怖ラ知ラス實 エニ生スルおう、海

哉を就上ナン上し上宣八义本人化好上成り六本坐 摂取スヤニモ女人往生ノ哲ラリ龍女トイへた。流上 三看人其時师動諭シテリ、夫し我発花八六八ノ 大禄ノ极間二出テケル力處空ョリ黒雲一ムラ巻 竜女ナラ八本相う現ハスへし上、其時化女八座ラ起 頭ラ至大一切人天思畜被毛戴角下大老力 紅ノ古ラ出とテ火変ラ吹久伸りモ騒タラハス り、破験ョリ、日月ノかクノ光リラ放大、ロラ間、す 上見へシア怒チ化女二十二寺ハカリノ大蛇トナ 今幡體院二年ラ取テ彼ノ大地ノ頂キニ當大喜

ラ大見シラ報謝セン且 ツ火災ラ 帯に又上人好通 シテ日上人ノ教化三位テ、我今電都ノ身ノ脱し、三熱 上人在下以所三、意料ノ不思議ラ以テ水ラ棒 王常妙竜上許可以十念ラ授ケ五丁二化女八数喜落疾 頃三教化心玉に歌子布薩大戒ノ血脉ラ與へ戒名ラ ラ経ルトモ、女身ラ轉スルコトアタンス、設に地身ナリ 八龍力能力我ラ薄シ今ヨリ以後山頂海中ニモア トイへ下、一念題書也八十方衆生ノ誓三叶フへした念 フナン若し此名願ガニョラスンハヤ初万劫恒沙劫 若患う離子、西方降土三往生セン、师ノ徳三非スン

也是八末也被八大権人化身是八萬景景人竟高十八 同日ニハ論スへカラス ノ八歳ノ竜女無が世界三成佛ノ独ラ示スでいて 念佛ラ子護セント、於レテ去リス後ノ法華經 随岩上宿田法論,事

多オノ普レアリ、ない三同國通照寺ノ住旧、有田上る ン故三是ラ強ミテ念佛ラ誹謗し上人ラ思レセー 家首念佛三帰依之师ラ學敬之改宗又心者、甚多 上人ノ上起意意常トラへい多年ノ教学ニシ大傳識 い、弦宗ノ僧有り上人ノ念佛弘通ニョり自宗ノ禮

随意岩是上聞ヨリ心ニ恐カタ久師三般七シテ玄 門徒大三腹り免解近日夜三給レテ部レ人り、情 宗義末代相應不應ラ論スルラ時起ラ移也り。随岩 門ナリト、智辨無窮三論シケレハ流石ノ者田モ機根 出元直三通照寺三往六看田二出會己六真言衛生 日三逐瑜如人法門八上根上智八叶ノへケレ氏末代今時 元者田が法をう、刺取于帰り又ガンリケレへ被 クラへ三八カラョンス、閉ロセリ、産岩大三勝利ラ得 ノ教法コン時機ラエラハス五圖思也可通入路ノ、要 人思病無知人は夫、半テカ修行スレーラ得心只然

を主くこ

害セント訪し、我蓮堂上二結跏趺座しテ是しラ 見ルニ思難久爱三来テ急事ラ告ケ奉ル、是しい 山ヨリモ高シホルニ今雷宿田为徒上人师子ラ教 竟当川織身う捨テ、今八四方ノ報土二将生ス ナリ、師ノ血豚十合ラ受ケ、変起ノ信にう發し家 に既三其用意ナトレケル其夜五更三光明ラ放子 师ノ法が吾身三於テ、思ラ家ル丁、海ョリモ深ラ 随意师多共二教客シテ無念ラ散ント、徒堂ラ結 菩薩来臨シ玉に师二告テ日我八是山王管妙意 ララ報 謝スルナリト云果テ、紫雲三変シー

趣キモハント、先り下総國與宿ニソ到り五フ ト門第泪う流心、御歌ラ感心館林ラ出テ信州二 退りへ、随意常八後二住持スへし上告ケ、御分子 四五輩召連レ一首ラ誠シテ 西天三去リニケリ、師ハ門をうたっ大我レハ此地ラ 阿於陀佛乃古惠農宇知奈留加久禮我波 逃 聖ラ引 尊い給フララ 無質心茂伊麻袁須寒與加利計理

へワカスナリケレハなノ水な三宿り、終夜念佛シ六在下

师巴三下熱國関名三至リエフ三月モハヤ暮前後モミ

١٠٠ مار الله

此、若レミ事問人モアラサ火、誰ニ語ランヨスカモナス ニムナンクナリ果テ、血ノ池水三身八九、海山懶モナキ ト弱玉へい我アサマンキ流レノ身、白玉ト申ス、遊女三テ 三陸サモ家ナル姿三大師ノ前三来リケル師何者ソ 人ラットハン年月積ル罪過人病ノ松ニ日ラ重子意 にム身トナデ、夜コト日コトノ夏十枚アラス虚言こ 候が、個人界三生ラジナアス例少キル作人流し三 乱レテイト思力雪ラ歌力白キ表三震八十八人系 スニ五滿り夜半モ更ケ行ケハシャカナル女人愛い

空レクナテクセケ年、唯願り八上人慈悲哀歌ラ非

ノ日我と弥陀人威力ラ顔普ク衆生ラ化度スル三竜 レ玉に大我レラ歌ケ給いしと使う流したこケル師 高ノタ身ダ三己三往生也以佛ノ本語最モ 題を有 か三起空三部樂雕へ間夜明了ナルコト、白日ノが 尊セントな放名八本来ノ白玉信女下和抱婆楚山思 り、白玉が何ソト人ノ問にし時、露上消三し汝力為三引 心紫雲襲襲之聖教来迎ノ容儀アリケリ、灵魂ノ モ脚ナント家シナ念ラ授ケ五八為靈い然子消テ見へ 光寒、水ノ面三夜アョナ通フ月ナレト、月モスレ子八水 巴則年夕淚不就今日偶逢明眼客時電白五放 北

**新**路路之一

が深キ女ナンバー子上、名ラ高し夫ノ還ルラ寺 サニアレコスが々御使ニ参り、ヨク知りタリンカノ 本妻是レラ聞ヨリ嗅り腹立本ヨリ人三増リタル大 夏三テ、懐胎シ早や追テ産月ナリト奏細ラ語レハ 女三都々トスカン、子細ラシッケレハサスカ、婢女ノアナン 忍にテ行き風とケルス本妻八怪り思とテ君はら ノ外三又情ラ通八スタアリテ他所三抱置天意夜下外宇津部三三谷善八上至ル者アル及近上上妻 佛果親フ所ナレト教者レミリ **到我名號利生ノ**夏

スケルハイツくノ頃ョリ自ラニハ深ク隠し玉へE我能 始又終リラ知レル必ス格氣嫉妬ニテ申ニハアフス 君上我上三五ノ年月ラ重又レモ、今三子七儲ケ至ス 早で自うを四十三近し家的ラ地クへキモノナケンハ 三置元氣遠し其身モ又何角ニッキ不自由ナラン 必不此屋へ呼へし、身ニッショナシ五へ典上八色七角王 後ノ世ノ支シテ悲ク侍ル部テ此支ラ、佛神二初奉 スト、聞ヨリ嬉シサ、遣ルカナ久佛神ノ與八上思と君 した、其験モナンなルニ君電愛ノ奏、重キ身と成り 種子ナレハ自ラカ為ニモチナリ、斯ク申る上八他所 を変え

ラナノイタハり待りかがイカナルコニヤ、照ハニハカニ 大別三一間ラシッフィテ呼へケレハ本妻ハ大半三院と、余 三花ラ段スレハタハ是非ナ人がラハ本家三教り往カント キイト念頃ニダハ亞ノラナレハツス遠慮シェフナト言葉 若し又我しり舞に玉小我为身八他所二住居也と 照モ一往八得心也七七月那三天上又本妻直三名三往 り三大後ノ照ト云心勢ノ許三往十テ、此支ラ語ルニ 佛神ラ誓言三人真颜三十万テ云ケレハ夫モ一度ハ ハゼン、桂有無ノ返巻ナ人免モ角モョキャウニト計 形し髪にケレ氏、再三他夏方見へケレハ今八隱ス丁能 一个相名之一

ナヤミテ府ノ上三、ツノ腫物出テ次第二腫痛言者以 夏限リナンぐ人醫術称願も験ナ人命も危り見つかん か身二ツ三成り後生モ助りタク思へ氏被タニ上ラサ 三ツキララ原に有り、傳へ聞り、情遊意上人下勉固學有 三在シ六化益ラ斌シ玉フト義に我し直三神十念ラ受 及善八二向と消ラ流シ云ケル八我身八果報地クシテ 後ノ世で怖っしく他ノ人ノフシリラ受シモ、悲シケレく足 二三七成り大空り成了八恨モナし、此身此尽果往力い いけカタン君被シコニ至り玉して、柳十合ラ投り文勢 ハカラサル三大病ラ受大死スル命の情カラ子に賣了多 **一路悠**之

号ラ受ケ帰りケル三既三其月モ晩方三ナリ、家路程 林へかくことらか給了各八有難力機了下合下名 ナ念ラ、受ケル又意方ノ夏た八別二此名號ラ授文、汝 ケルシ付トカンケン川中ニアスベリテ、其身八川三陽 選リス真滅サスへシ、下合ハ此名号三投ケ置久汝御丁 シク思に云急き殿宿三至り、布三對面シ始末ラ語り、御 ウケス未来モ助り候いした口説近ケしく気で家レニカナ 三日為シニ投ケエハラハ月ニッとモ成り世間ノウシリモ 近キワタリニンツノか川アリ水液ケレハ渡リカシリ レ半町、分り施してルカヤフィーメハし上り大きれ

ナツキ、彼川下人智力難ノ洲ニコス龍神ノ住上す 前世ノ報ナルガ、御念佛神名号三七拾えノタリトナ、 勢い何ナル紫南府キ身た三下将籍リ三テ死スル約束 ケレハシカイノーナリト、季シク語リケレハ老人打力 了し八直方ノ持い事手御名号八龍神三奪し ツスマキツマキ行きなこ、里逝ケナリテ、友難ノを にスペキャウモアラヤン八是非ノク家三帰ルトテ教や我 物打シボリツ、懐中ラサクり見しい投ケ玉としる号 ハナカリケレハ害八大三衛手、免ャセン角や上張シ焼 人乗り、苦ハラ見え何トテ郷レタルヤト怪しこ 番島之

開き見ルニ、学ノ中ヨリ、備随上人ノ御名号鉄ノ 関カサリケレ人人皆不思議人思ヒラナス、男主寄り、 ラかニイレハガニハアラブ、腫物モ連ニを愈シえ安 産シンカモサナナリトナ、悦サノケリ、善八夢現ノ如ク 八如何二十怪之合へり、善八族ラ流心心肝二路 釘一本包三巻テ握り居タルナリ、人々是ラ見テコ 如何ニヤト、先少産子ラ見レハだノ学ラ型ク握テ レ八多照ハ早や避久成りタルモノナフト思しち 家三婦しい夜モ漸り深ケルガ、家門大三物題シケ タルナラス残念サョト部ルニッ善ハハイト、悔してっ

王フラコン有難七人數喜ノ波ラ浸シキ、去」 然リラ聞ヨリモ嗅息ノ袋胸ラ無しなしけ苦しけ、 に鉄針ラセミエフハ奇怪ナリト各々評定スレ ト思ヒシス態ト格氣ノ色ラ隠シテ偽リラ構へ 次ノ一間ニテ本妻ノ聲トンテ、其針とい我とす 何三十之夏少十、鬼压成り地比成り、取殺サン 思シ、我ヨリ先二来ラセ玉し、安産ラ守護シ 心我此名号ス特受シテ婦ル二道遠少シテ出 胎ノ間二合と難き改三道三テ取り落シタリト 呼恨人之中、我於恪氣嫉妬八女人習上、照力夏游 一条 一条 一次 一

し我力松意いきサルで情シャ人二八恨をノ有い 力無力、今三思と知うセン者ト、身う問へ苦くアイ 教手取り、窓子化シ去り五フト思フト照八年産 ル処二、御谷号小光リラ放示飛表り、針ラ巻付ケ 薬ラ與へント、也々ト類メモ人やまる既也入水 ラ生シテ苦シム改二大形二八仕夏セダリ、此上三意 シ調快で思了心人会三八石二矢モ立つ間、ノト、既 力勝三針ラ打総に非礼ラ受ケスに我一念ノ テ呼迎へ照为姿ラ夢人形二造りなくト児 ラス大教サンモノト新ル念が通シケルニヤ、腫物

ナラン、是ヨリ御名號ラ、野教名号ト云傳へ少り 書シテコス死シタリケリ、誠二题看於本人人全言 人ヲ難波ノアント思フナト部センモ、此ノコトキノ支 夫ョリ善八不思議監徳ヲ感シ界速使ヲ以六师 号ラ書き駅ハリケン八道方頂戴之産室三掛ケ 究置し香花ノ供養ラナンケリ、がルニ男魚夜」 許、奉告二上人又產屋ノ寺護ノ為と上大名 心哉古歌三七 関省大電寺建立人夏 シ殿指ヲ数き、其代際一覧スキテ、 白浪八需来ル放二婦ルナリ

番祭いと

此夏ラ上人二告ケ奉ル二上人七念佛心彼人妻ラ廻 号ョり光り放チ玉ス其光り二恐レス退キケリマ 夢三小地来り丁産婦二迎寄ラシトスレハ名

向之玉了其夜一人人女寒,于上人二語子自、我人八善八

が妻ナり、其前生八人間ニアラス小池ノ邊リニ住人

地ナリシカ、善八枝童形ノ時我レーツ」生ラ得テ香

食セントセシラ小石ラ以テ投ケ、是ラ効ケ蛙ラ助ケ

新へ我 ラ教害セリ我 其、時思フニハ姓 ラ 助ケハ我命

モ助りてンがルニ些い命ラ助ケ、食物ラ得し我命

ヲ害スル夏如何た心夏人食ヲな心命ヲ取ラル

夏たナリ去りすりう竜ト成り大何レノ所ニカ住下 竜ト化シテ怒ラ酬シト思フ上人是ラ上ルコトナ カレ、師云汝于大竜ト成り三人本聖ヲ終ント思フ ひト思フて、我朝ノ大池小池皆主シアリ又大海八金 也之二、照八师ノ書縁ニョリテ名号ノ威カアリテ我 し本意ヲ失てり、かしに生々ノ恨を永夕解ケス、我 ラだセ母子ノ命ラ取殺し、善八二愛月ラ見セント ト思所三華奏ノ懐附セリ彼しカ電愛セル照为産レカナナリテキラを書ハカ妻トナリ先生ノ怒ラ報セン 此人恨を生々二報スペント思フ一念ヨリ人界二生

殊二族が元三八羽三身ラスアル取雪メカタ人其思生ノ願ナキニハ羽スかんに上来ノ恨、時しヤラス ヒタニ解ケハ教へニ順フへいにかっかラハ今汝子 必不意う逐へシト宣ス是魂力日我心净土往 **担島ノ沿レアリ、安穏ニ住スル所アルヘカラス、おルニ** 念想ラルメールニ、我力十念ラ受ケ、彼ノ池三至ラ 徳池ハ主モナ久三熱ノ苦モナ久快勢ノミナリ次此 ト思フ聖キ願ラ発也、願有テ名号ラ唱へい 住シテ本意ラ遊へ干池アリ、西方極繁海土人の功 三至り本意ヲ遂りへと至ラント思い暫恋恨

九善八八不義人思名ラ留へ是レ汝力本意遂名 善ハントナノ不覧し大い新ノかり根ラ受んと諸人三 為又三寺ラ建立シネクグラスで開基ノ主トシ末代でテ ヨリテ生死ノ苦ラ脱シテ、浄土往生セリト、菩薩ノ形 シケル共夜灵魂上人ノ夢中二来テ告テ日、上人ノ教化 ラ授ケモハニニ持受シテ、終三失三ケル改三所関宿ニ 同果ノ道理ラカラマハッグ、是レ永ク世人高思ノ手本上 脱ノ為三別時念佛ラ執行と廻向シェス諸人群ラナン結縁 彼为為三大竜寺ラ開基シニス、建立成就シテ、灵遇得 アリ急テ万夏ラ放下シ、我カ十念ラ受久シト、下度す念 一大川大田大山之一

心宜少排シエフへい上人般方請五丁二忽然上又老人去 持セリ、傳へ云大唐ノ善導大师ノ神首ナリト、今师二奉 リス其後十夜ナイ海中先り耀キテ魚蘇畏テ 老人師ノ許二来リテ對シテ日、我上年来僧形ノ神首ラ所 二暫ク鍋ラルテ草庵ラ結と居住し玉八或日ノ朝久白髪ノ 現し、光明ラ放テ西ノ空三程去リケリ 師下總國財育ラ辞シテ、越後國高田二後住シ王ス彼地 中上成り関宿臺町上云心所三有、繁昌少地方 大電寺間八野中ニテアリント、今八民屋建賞土市 後國高田善事寺建立之夏

是ナラント、引上ケ見レハ首ナキ本像ナリ海人恐し怪 ラ校ハント、其所三至り、例ラ打ケレハ何ヤラン掛い者アリ、 漁猟りブンテ漁人数キ悲しく其中二人ノ強勇ナルを アリ、我レ光ル所三至リ、納ラヘラ是ラ害シ、浦人ノナケキ こして、合作弘通ノ益ラ家ムル者、市ノ如クナリトソ ノ惑得ナリト悦テ御首ラ取合也見給ノ二符節ト合 ンテ、师ノ許三持参シテ、此一是力語リケリ、师不思議 像ラ安置シ大善尊寺ト号シスなショリ化導路盛之 鏡残サン為三村民ラ勧該シー字ラ問基でしく彼り尊 ゼルコトノナル師於目信心敏喜之落族心給に求也ノ龟

皆然かい

云我始八上為躑躅力池二住人り、妙竜往生人後八池 力往生う見えぎタ浦山敷願り、師様とう重テ血脉ラ明 三深久师人同縁孩子三七代事ラ紫心夏建之山院三婦 意子三讓り我八當國青柳ノ池三住メリト、师ノ日汝子 り、す合う投與シエハト、師ノス、汝ハ今何レノ池三住や上谷子 生せり、我八其夫ニシテ、今下テ婦力都メラ聞ト云、氏業毅殊 八龍神三丁候我力婦王譽妙龍八师八也尊三依大速三往 忽然上之六师少前三来上り,你怪之方何者以上尋玉八我 師或夜獨り,佛前三在シテ念佛シ玉フ三異相ノ老翁 電響高天ラ心度シ給フラ

婦力録ニヨリテ、吾レラ蒙に来ル夏殊勝丁りま清清波 ノ朝人来ルナラン汝ナ先ツ帰り去してい助ヨリ吾多子 为夫龍早り出于来ルへし知販了渡スへした大音拳子宜 邊り二往て我しい幡で上人ノ使僧二来しり、王磐多章 ヲ以テ譜脉ヲ送り遣スへと、竜神八飲喜シテ境治 ノ身ラ離しス三熱ノ苦ラ受い佛緑ノ味キナリ、ホレモ ク見てサリケリ要日與豚ラ説人高学確波和尚彼也 能り聴か、竜神タリト云、民女八佛法ノ非器ナリ、かいこか 竜既二往生ス、汝八竜畜ダレた男夫三生しし二佛法非四 ノ龍女二先子越サレ婦ハ早少往生レスル三次ハキタ電気

レ玉丁二角ラ合セテ年受シテ水中三人工的成名 子り随三受与上生八竜神八相ラ流、角ラ分テ ラ波ラ怖しス彼コ三至川血豚ラ與八十二ラ授ケテ日押 元中ョリ火焰 引吹テン居夕川大道波和尚小松三打乘川 生七小今ヨリ以後师ノ專思力報也之為三一宗力守谁 フ現して、作,前三来小我已三师ノ化真ラ家り、報立注 ラ電響高天小許可シエス程へラ後高天八菩薩ノ次 和尚人松二頭う寄セタリ和尚血部ラ角ノ間三人 此血豚す念ハ吾力授ルニ非人我師幡随上人ヨリ授な玉 八光水波立六中月り大龍寶上頭八子上テ州ラ根川立

又有難き夏ニツ侍ル 之奉り、別テ师ノ名号ラで信又い家三、妙竜上吾上常 二大災水難、切り衛リラボフジント云型テルシ去り 私三日本朝高僧傳三隨波和尚後三上外館林養事 寺三住之至了竜神来テ我父母八上人が下三テ血郎ラ 賜八丁既三成佛人願り八我三法脉ラ賜しし、和尚 歡喜シテ去ルト云是し高天力電子ナラン傳燈系 明日ラ約シテ婦シ至了三翌日来テ血豚ラ受ケ 林泉禪寺上問杏龍神行護之夏 語こも竜子トるへり

番号に

五フ二林泉寺八國主長尾入道無信八先祖フ森リン地二 に兼丁階頭力合之不捨有了一都ムル夏ス思之嫌了心此等 テ意恨ナンなしに、我意ラ以テ彼ラ害セハ世間ノ朝リモアル 六代々菩提所ナン八種虎是ラ間テ大三怒り法ノ勝負八鬼 アルキ夏た三我レラ恐い上上働き言語ラ紀スル振舞甚以 七角を我寺ノ夏七八我ラ常敬七八法服ラ刺取夏八遠慮 アリ大既三勝利ラ得大作法ノ如り法殿ラ利取大帰り 三彼り、害セサセンニハ如シトアレハ群臣頓テ民百姓ラ福 何一日同所春日山林泉禅寺·三至リテ寺主上法論/·ラ シ幸二當國二八往昔ヨリ、一念義ラ信スル徒カラ多し、此者

師八他日化益多カラン我等守護セン早少去り主へ上师ノ 日本ラ八先弟子等ラ落サント、件ン告ラ直テ、急キ汝等 石火等了部小被人借了害人之上、告八工民天大二悦上 シ 急半其磨ラ兔し玉へ上告ルニソ,师教与テ何夏王或紫 り、柳也有コラ教下、近郷ノ徒當、會合之一揆ノ用意ゾ、 夜夫婦ノ電神来テロ上人此所二住シ玉八不幸尼難アル シタリケリケル二師八曹子此夏知り五公人念佛誦經ノ其ノ 又心故三使等了殺害セント支度スレ氏上ラ恐レテ延引化 新了幡随刀我等信人心所人一念我人法門八班我丁丁、破 ノ所感ニンテ自然自得すり、宣道し去夏アランや、竜白 番をから

来しり、我此所三留りて、彼ノ者にラ押へ障入师八里 テ我モ行クマント、其時多子等力力得テ、他三随に皆然 セハ至ノ為軍シカラス先ツ早り退テ我ラ待ツ、心震しる ルカラス設に命害セラン玉へ我々先キニ殺サルへント、何ノ 天工小师此一所了一来川玉八氏追手人大勢師司八急三追 山路二母り玉八被ノ異相ノ老翁現し来り我八竜寒高 ク去りた八然いナテ師ハばヨり、鍋ラ発シテ出玉フこ既三 日香上司充三八非人我八是ヨリ武動人越ント思人汝等隨身 志ス方三早少退りへい何國三アルトモ称名息ル夏勿以縁 有ラス又值スシリ五八門学に大三悲之師十ラ暫り七放

以何國ラテカ行之、湖フ追掛討捕し、大勢ノ工民圧山路ラ テ書導き、到りた人が学に二人七マンマスサテハ早落失る 落往玉个、师悦ンテ武死下志シ玉スかルニ土民一揆人者 脂夜ノ如久大雨凌千難久最後人道七見八分名大方声書 サンテ急きたい路ニナンハ不思議で、高天力電ガニテ、今や情 F八被し具足三縄帯ン作鎗ラ妻又太ガランド、思とく三出左 テ居寺人以其間三师八里や、乾摩川川とえ三至り主己洪水 水衛自浪彩がって新りかり三流に何モコハイカンセン 名心室で上二後二黒雲巻起六大車軸ノ雨ラ降ラ久閣十夏 ト思頻に至了前二二八計ノ表文一人、我ヨクリノ家人、ラ知

上三打衆り角ラ校ニシュと念佛ラ唱へ子在ス三大竜へ頭ラ持 上午頓天皇ノ川岸ラ波之奉心、何い悦子急半成務三越寺三 き火始ラ四六师一般ナル岩ノ上三襲ラ居置師即子被人頭 老水明ラ立て水中ョリ大竜ノ身ラ現ン頭ラ根立テロラ眼 第子王譽妙龍」り作人災難了捕し為二是一丁来レリ、施 第ノ朝リラ受念が弘通ノ障リーたつト、女ノ日我レハ 御 上云とモ果ヌ三道消如二見へサリケル九川水門温心波浪声 白然え、早夕本射ラ現心渡入し上、女ノ日暫り光所三待玉 り、柳手ラ引ラ渡シ奉心シト師ノ云我了在水難ラ道 命ラ續シ為ナントナスをキ女ニチラガレテ、此川ラ渡ラン夏

五上方後大面七晴ケ八衛々息ラ次元先摩川一到看 等ガチニハサフへカラス設に手三入に、客心奉い良い スルリノ水ラ見テ是程ノ川ラ渡に備随ナレハガ会我 後ノ追手ノ者に八車動ノ雨三障ラレ、師我摩川ノ遊 無熱ナリトラ越後つく帰りケリ

**福随意上人諸國行化傳悉一終** 





